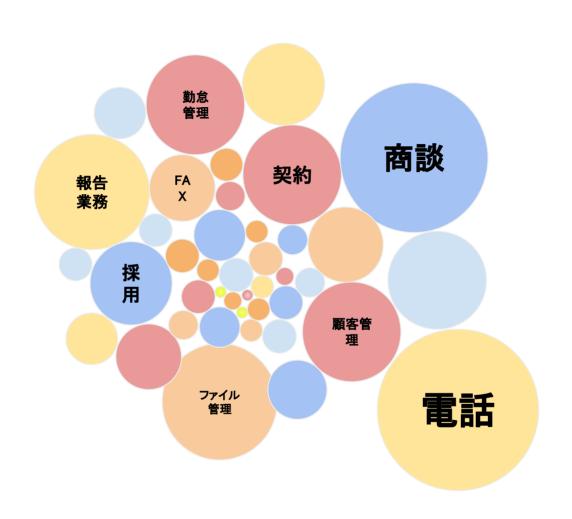


目次

3分でわかる クラウド型CTIの導入が進む理由

○電話のデジタル化が進む背景 —	P2-3
○3つの見極めポイント ———	P6
○クラウド型CTIのメリット ——	P7-10
○サービス選定時の豆知識 ———	P11
○弊社サービスの導入企業例 ——	P12

様々な業務範囲で進むデジタル化



電話・契約締結・勤怠管理などあらゆる業務において デジタルへシフトし効率化/自動化する動きが進んでいます

電話のデジタル化が進む背景

このような悩みすべてを 電話のデジタル化で解決できます



コア業務へ集中



人材の不足



データー括管理

従来の受発信業務では、

- ・打電による発信
- ・担当部署への取次
- ・ 電話内容の共有

などに時間が割かれており、コア 業務の中断が起こっていました。ク ラウド型CTI はこれらの課題を解 決できるため、市場での拡大が急 速に進んでいます。 国内人口の低下もあり、企業内での人材不足は避けられません。1 人にかかる負担は大きく、そして属人的になっていきます。クラウド型CTI は業務を効率化する機能が標準搭載されており、従業員の負担減少と生産性向上の両軸を実現します。 エクセルなどでデータ管理をする企業が多い一方で、様々なデータが会社内の至る所に散在し、うまく活用できていないと言われています。クラウド型CTIでは、データの集約や他システムとの連携により、社内情報を効率的に蓄積し、活用できるようになります。

最適なのは…クラウド型?or 従来型?

3つの見極めポイント







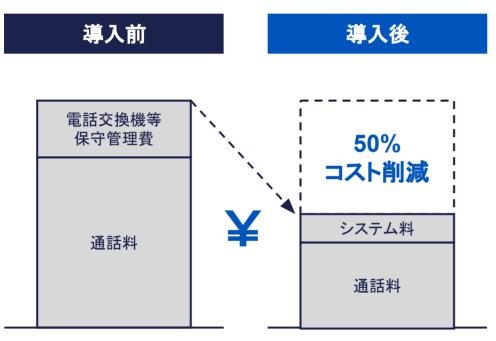
1つでも当てはまる場合は CTIシステムの検討をおすすめいたします!





①コスト削減に有効

通常のビジネスフォン利用→CTIへの乗換でのコスト削減例



大幅なコスト削減を実現!

- ■システム利用料 → 21%削減
- ■電話回線料 → 76%削減
- ■通話料 → 63.5%削減

※1

②現場での教育や悩みから解放

具体的な悩み

- × 行動数を意識づける 教育に困っている
- × 最適な人材の採用が うまくいかない
- ★ 各オペレーターの トークカに差がある

改善提案

- オートコール機能などで 一定の行動数を担保
- 現状のメンバーがCTI を使うだけで コール数&アポ数2~3倍UP
- 録音機能やモニタリング機能で 個別のトークもすぐに改善

③報告や管理にかかる時間を有効化

導入前の課題

<一般的なExel管理例>



導入後

<時間帯別のコール結果一覧>



* 当社サービス List Navigator.」の一覧分析ページより抜粋

- Excelなどでグラフや表を作成する作業工数
- 相対的な良し悪しをみつけるのに時間がかかる
- 感覚的な分析で現場を動かしてしまっている

- オペレーターごとの架電結果を自動で可視化
- 過去の蓄積データをワンクリックで表示
- 相対的なデータ表示で数値を基に現場へフィードバック

サービス選定時に知っておきたい豆知識



サポート体制の充実度



導入支援の 有無



通話音質の 確認

メールや電話対応のみなのか、マ ニュアルはしっかりしているのか、 迷ったときの相談はできるのかなど 事前に確認しておきましょう。 導入支援体制がなく、導入後の初動 に遅れが生じてしまう場合も。しっか り初動から伴走してくれる体制の有 無は選定の基準のひとつとして見て おきましょう。 音質に関わってくる回線やデータ処理構造は、各社ごとに違うため、テスト通話などで試すのがベターです。

弊社の導入実績

業界業種問わずご利用いただいております。

Lancers





























お問い合わせについて

電話に関するお悩みは気軽にご相談ください。

電話でのお問い合わせ

0800-777-3631

通話無料

平日10:00~19:00

担当者名:木村

メールでのお問い合わせ

sales@scene-live.com

会社名・氏名・メールアドレス・電話番号を ご記入の上、お問い合わせください

サービスURL

https://scene-live.com/service/listnavigator/

当社のホームページでも資料請求・お問い合わせができます。気軽にご相談ください。